



わが家のアイドル

東中にお住まいの

渡邊 正樹さん・久子さんの

長男 ^い ^き 一 樹 くん(3歳5か月)

長女 ^{けい} ^か 佳 果 ちゃん(10か月)



プラレールで遊ぶの大好きいつきくん
水遊び大好きけいかちゃん
けんかもするけど仲よし兄妹です。

みなさんのお宅のアイドルの写真を募集しております。市役所総務課へどしどしお寄せください。

下田の大地を巡る旅

「伊豆半島ジオパーク」

島の成り立ちを示す

2つの地層

Vol.4



ジオスポット「恵比須島」

須崎漁港の西に位置する恵比須島は、その独特な景観が印象的です。夏場、多くの観光客で賑わうこの島は、「磯の生物の宝庫」。南側には「千畳敷」と呼ばれる平らな磯場が広がり、干潮時には子ども達が磯遊びを楽しみます。

頂上付近に立つ「須崎恵比須島指向灯」は、海上交通の道しるべとして、船の安全を見守っており、同じく島頂にある恵比須神社付近からは、古墳時代の土器とともに、火を焚いた跡が見つかっており、古代人が海や島の神々を祀った祭祀遺跡「夷子島遺跡」として下田市史跡に指定されています。

この島の成り立ちは、島を一周する遊歩道を歩くことで知ることが出来ます。遊歩道脇の崖部には2種類の地層があることに気づきます。ひとつは白・灰色の美しい縞模様の砂の層、もうひとつは角ばった石や岩を多く含む地層です。

これら2つの地層は、どちらも海底火山の働きによって作られたもので、須崎半島の骨格を作った数百万年前の火山活動の痕跡なのです。

縞模様の砂の層は、火山から噴出した火山灰が海流や波に運ばれて積もったもので、波の強さや流れる方向によって、異なった重さや大きさの火山灰がたまるため、美しい縞模様ができます。こうした地層は下田の各地にも分布し、石材としても利用されているため、下田市街の古い家や蔵で、この縞模様の壁を目にすることもできます。

一方で、岩を多く含む層は、

海底火山を流れた土石流が積もったものと考えられており、溶岩のかけらなどとともに、水で急激に冷やされた痕跡を残す火山弾も含まれています。

地殻変動によって出現した島

このような海底火山の噴出物からできた恵比須島は、地殻変動によって隆起し、現在は地上で美しい姿を我々に見せてくれています。またその「千畳敷」は、波によって削られてできた海底の平坦面が隆起してできたもので、地殻変動の証拠のひとつとされています。

豊富な磯の生物と古代の遺跡、そして数百万年前の火山活動の痕跡を観察できる恵比須島は、たくさんの方の魅力をもった「ジオスポット」です。

アクセス

下田駅より須崎行バスで15分
終点須崎バス停下車 徒歩10分

問合せ先
観光交流課観光戦略係

☎ 223913

